

□■養成所ニュースプラス第9号 2024□■

7月第3月曜日は海の日でもあり、「ソーシャルワーカーデー」でもあります。この日を中心にソーシャルワーカーの活動を推進・普及するために各都道府県単位で取り組みが行われます。日本ソーシャルワーカー連盟のウェブサイトには、「ソーシャルワーカーデー宣言」があります。この機会に読んでみてください。

Plus Quiz は「地域福祉の理論と方法」（現、地域福祉と包括的支援体制）から「民生委員・児童委員」について取りあげます。選ばなかった選択肢のどこを直せば適切になるかもあわせて考えてみましょう。

■Plus Quiz・・・・・・・・

【第32回問題38】民生委員・児童委員についての法律上の規定に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

1. 民生委員は、市町村内の小学校区ごとに1名配置する。
2. 主任児童委員は、児童虐待の早期発見と介入のため児童相談所に配属される。
3. 民生委員協議会は、民生委員の職務上必要があるときに関係各庁に意見することができる。
4. 民生委員は、職務上知り得た特定の要援護者個人の情報を広く地域住民と共有してもよい。
5. 民生委員は、その職務に関して市町村長の指揮監督を受ける。

正答と解説は最後に記載してあります。

■Yoseijo Info・・・・・・・・

- ・(35期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
申請書類一式は原則として、再発行はできませんので、お取り扱いにはご注意ください。
本養成所からの申請書類発行のため、「受給資格者証と公的身分証明書のコピーの提出」及び「レポートの提出」「スクーリングへの出席」「授業料の納入」が必須となります。
- ・(36期生)教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の支給希望の方へ
「受給資格者証と公的身分証明書のコピー」の提出をされていない方は、早急に提出してください。
- ・(36期生)見込書類(実務経験証明書)のさしかえについて
入学願書提出時に「実務経験見込証明書」を提出している方は、入学資格または実習免除を満たした期間の「実務経験証明書」の提出が必要となりますので、早急に提出してください。
- ・受講の手引の表紙裏(表紙の次のページ)に“レポート作成・提出チェックリスト”があります。
レポートの作成・提出の前に必ず確認してください。

■Test Info・・・・・・・・

国家試験に関する情報をお届けします

- ・第37回国家試験は、令和7年2月2日(日)です。
概要はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322367&c=3246&d=99c7>
受験申込手続き(予定)はこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322368&c=3246&d=99c7>
- ・第37回国家試験から適用する社会福祉士国家試験合格基準並びに総試験時間数が公表されました。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322369&c=3246&d=99c7>
- ・日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催の全国統一模擬試験のご案内です。
詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322370&c=3246&d=99c7>

■Plus Info・・・・・・・・

その他の情報をお届けします

- ・日本知的障害者福祉協会では様々な情報を発信しております。

詳しくはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322371&c=3246&d=99c7>

■Back Number

過去のバックナンバーはこちら→<https://a02.hm-f.jp/cc.php?t=M1322372&c=3246&d=99c7>

■Plus Column

【受験対策ミニ講座第6号／知識のインプットの工夫】

今回は、池谷裕二著「受験脳の作り方」（新潮文庫 2011 年）から情報の記憶についてお伝えします。

知識をインプットし定着させるには、情報を短期記憶から長期記憶に送る必要があります。脳で情報を仕分ける機能を果たしているのが「海馬」です。仕分けには「生命の存続に役立つか」が優先されるそうで、皆さんが覚えようとする知識のほとんどは、生きていくのに不可欠とはいえ、長期記憶に送ってもらいづらいわけです。忘れるのも仕方がないといえます。

池谷は「海馬」を騙すことこそが効果的な勉強法だと言います。私たちが忘れたと思っていても、潜在的な痕跡は脳に残っているそうで、この痕跡が覚えることを助け、忘れにくくするそうです。忘れてしまっても、必要ならまた覚え直せばよく、繰り返し覚え直すことでそのしつこさに海馬は勘違いし、長期記憶に情報を仕分けると言います。

池谷は、「海馬」を騙すこと＝繰り返し復習することだと言います。復習は、潜在的な痕跡の保存期間である1か月以内に行うこと、また、復習効果は同じものに対して現れるので、参考書や問題集はあれこれ変えない方がよいこと、そして、脳は入力よりも出力を重要視するので、これを活かすには、問題集を何度も解くような復習方法が効果的であることを強調しています。

参考書を読んで、その範囲の過去問をやり、翌日にもう一度やり、週末に1週間分をもう一度やるという勉強法も脳科学の道理に適っているということですね。次回は、改めて受験対策スケジュールについてお伝えします。

【Plus Quiz 正答と解説】

この科目では、地域福祉に係る組織や団体、専門職、地域住民の役割と実際についての問題は頻出です。民生委員についても毎年のように出題されています。

民生委員は、民生委員法により市町村ごとに設けられる民生委員推薦会が推薦をし、厚生労働大臣が委嘱をします。任期は3年で、再任も可能です。民生委員は、児童福祉法による児童委員を兼任します。地域福祉の推進主体として重要な役割を果たしています。

民生委員の源流としては、1917（大正6）年、岡山県知事笠井信一がドイツのエルバーフェルト市の救貧委員制度を参考に設けた「済世顧問制度」、1918（大正7）年大阪府知事林市蔵が設けた「方面委員制度」が挙げられます。

大阪スクーリング会場最寄り駅の梅田駅から地下鉄で3分、淀屋橋の袂に林市蔵の像があります。その碑には、林府知事が「淀屋橋畔の調髪所において鏡面に映る新聞売母子の憐れむべき窮状に深く心を打たれこれが社会的対策の極めて緊切なるを痛感し府嘱託小河滋次郎博士の調査研究と慎重考慮の結果府下に方面委員を設置せられた。」とあります。米価高騰による米騒動が全国に広がった時期と重なります。

「地域福祉と包括的支援体制」は、旧カリキュラムの「地域福祉の理論と方法」に「福祉行財政と福祉計画」が加わり9問の出題となりました。新たな出題基準項目としては、「地域福祉の動向」「地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題」「災害時における総合的かつ包括的な支援体制」「地域福祉と包括的支援体制の課題と展望」等が挙げられます。テキストでは、第1章、第2章第4節、第3章第1節、第6章がそれらの部分になります。

1. ×民生委員の設置区域は、小学校区ではなく、市（特別区を含む）町村の区域と定められています。定数も「厚生労働大臣の定める基準を参酌して」「区域ごとに、都道府県の条例で定める」と規定されています。

2. ×主任児童委員は児童相談所に配属されません。児童委員の中から厚生労働大臣に指名され、担当区域は持たず、児童福祉関係機関や児童委員との連絡調整を行い、児童委員活動への援助や協力を行います。

3. ○民生委員協議会は、民生委員が組織しなければならないと規定されています。民生委員協議会は市町村の一定区域ごとに設置され、職務に必要と認める意見を関係各庁に具申することができます。
4. ×民生委員は職務遂行において、個人の人格を尊重し、その身上に関する秘密を守らなくてはなりません。
5. ×民生委員の指導監督は、市町村長ではなく、都道府県知事から受けます。

※掲載内容の転載・再配布はご遠慮ください。

※メール内容に対する個別の対応は行っておりません。

※問い合わせ等については社会福祉士養成所ホームページより行えます。

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-19 K D X 浜松町ビル 6F

Copyright2016 YoseijoNewsplus